

子どもの遊び場 実施のコツ

災害は、子どもにとっても過酷で困難な状況で、健全な発達に大きく影響を与えます。だからこそ、大人の支援が必要となります。そして、子どもにとっての遊びや学びなど日常生活に近い活動は、子どもの健康と安心に役立ちます。

1 場所

○避難所内や公民館など、地域の人が集まりやすい場所

○トイレ、水道、水飲み場が近くにあるか確認する

2 告知

避難所や公民館などにポスターを張り出すなど、広く告知する

3 遊具

○年齢や性別に関係なく楽しめるよう、多様な遊具を用意する（積み木、折り紙、絵本、柔らかいボールなど）

○お絵描きセットなど、子どもが気持ちを表現できる遊具も用意する

○遊びのためのスペースのほか、お絵描き、読書などができる机スペース、休憩場所を設ける

4 ルールの設定

○「遊び場を離れるときはスタッフに声をかける」「ボール遊びは決められたスペースで」など、場所に合ったルールを決める

○やっていいこと、悪いことの区別は、子どもにとって不平等感がないように留意する

5 対応のポイント

○落ち着いて話しかける

○こどもの声に耳を傾ける

○普段と違う行動も受け入れる

6 その他

女の子に必要なケアとして、衛生用品（生理用品、下着など）の支給（特に思春期の女の子はデリケートなので、家族以外でも相談ができる体制が好ましいです）

